

『サイレント 上・下』 カリン・スローター 著 田辺千幸 訳

MWA賞、CWA賞ダブル受賞は伊達じゃないの  
人間の弱さと脆さをえぐる、戦慄サスペンス!

アメリカの静かな田舎町で、湖から女性の凄惨な死体が見つかった。男が逮捕され、犯行を自供するが、その後留置場で自殺。両手首にインクカートリッジを突き刺し、血塗れの壁には無実を訴えるメッセージが残されていた——。

地元警察の失態により緊急招集された特別捜査官ウィルは捜査を始めるが……。おぞましい猟奇サスペンス『プリティ・ガールズ』と、シリーズ前作『ハンティング』で瞬く間に読者を虜にしたカリン・スローター。背筋の凍る残忍さ、緩急巧みなプロット、深みのある人物描写が人気の理由だが、本作では「警察小説」とも言える新境地を開いている。男を逮捕し、取り調べをした刑事レナ。レナの相棒で定年間近の臨時署長フランク。この町でかつて警察署長だった夫を殺され、心の傷が癒えずにいるサラ。サラはレナこそが夫が殺された原因だったと考えている。そして、頭脳明晰で優秀な捜査官だが、実は読み書き障害（ディスレクシア）という秘密を抱えるウィル。現在と過去が複雑に絡み合い、物語はさらに深く暗く沈んでいく。最後のページを読み終わったとき、深い溜息をつかすにはいられない名作。人気を受けて、次作『FALLEN（原題）』の刊行が2017年冬に早くも決定。

はまること間違いなしの必読シリーズ、首を長くしてお待ちいただきたい。（担当 N）

『嘘つきポールの夏休み』サビーン・ダラント 著 林啓恵 訳

- 気になる異性に、つい見栄をはったことがある。
- 適当な返しをしてその場をしのいだことがある。
- え、そんなこと言ったっけ？と思った経験がある。

1つでもあてはまる方は、読後に我が身をあらためたくなるかも……  
((( ;´Д`)))

42歳。職業は作家。ちょっと母性本能をくすぐるタイプのハンサムで、ロンドンの人気地区のフラットで気ままに猫と暮らす独身貴族。それがポールの自己イメージ。だが、ここに来てどうにもうまくいかない。若い女には冷たくあしらわれ、猫シッター兼留守番で住み込んでいたフラットは追いだされ、肝心の小説も泣かず飛ばず。そんな時、エリート弁護士となった大学時代の友人とばったり再会したポールは、つい見栄をはって人気作家を装う。おかげで彼の知人の裕福な未亡人と付き合いはじめ、ギリシャの別荘での優雅なバカンスにも招待されたはいいが、チケット代を節約するためNYでエージェントと会合があると嘘をつき一人LCCで飛んだり、乗り合いバスで来たのにタクシーだと偽ったり……やがてあれこれ辻褃があわなくなってきた頃、島で凶悪なレイプ事件が発生。積もり積もった嘘のせいでアリバイは証明できず、ポールは容疑者リストのトップに浮上する。真綿で首を絞められるように逃げ場を失っていくポール。だが、すべては彼の「嘘」が招き寄せた恐るべき畏で——

AmazonUK が選ぶ '16 夏の必読書。全英ベストセラーの噂のイヤミス、ぜひソクツとしてみてください。——担当 O

『神様も知らないこと』リサ・オドネル 著 川野靖子 訳

マーニー、ネリー、レニー、三人の声が心を締めつける——

全米熱狂! NYタイムズ絶賛!

父親に弄ばれ、男たちとセックスし、墮胎もした姉マーニー。生理がくることさえ拒否する、潔癖症の妹ネリー。鬱屈とした姉妹を取り巻くのは、レスビアンで倦怠感に苛まれる親友や、親のように愛してくれるゲイのレニーであり、けしてロリコンの父やネグレクトの母ではない。父がいて母がいて——古き良き神話の世界は崩れ去った。包み隠すことのない、リアルな現実の中でもがく姉妹とゲイ男性の苦悩を、三人の一人称で衝撃的に描く異色の青春小説。（担当 K）